

■第8次上山市振興計画 中間アウトカム指標一覧

基本施策	目標	目標値 (R9年度)	R6年度 実績	R7年度 実績	基本施策 所管課	施 策	中間アウトカム指標（単位）	R6年度 実績	R7年度 実績	所管課
4－1 道路	「生活に支障のない道路整備がされている」と思う市民の割合	100%	39.6%	40.7%	建設課	4－1－1 道路環境の充実	補助制度(※5)の活用団体数（団体） ※5 地域のみちづくりサポート事業、公共物補助事業	11	11	建設課
							道路工事整備率（％）	66.5	85.3	
4－2 河川	「生活に支障のない河川整備がされている」と思う市民の割合	100%	39.0%	39.4%	建設課	4－2－1 河川環境の保全	河川愛護活動団体数（団体）	16	17	建設課
							河川一斉清掃の参加者数（人）	5,075	4,548	
4－3 上下水道	「上下水道の環境が整っている」と思う市民の割合	100%	57.4%	54.0%	上下水道課	4－3－1 安全で良質な水の安定供給	上水道有収率（％）	82.2	79.7	上下水道課
							基幹管路の耐震適合率（％）	32.3	32.6	
						4－3－2 浸水被害の防止	浸水対策整備率（％）	78.9	80.4	上下水道課
						4－3－3 下水道の適正管理と普及促進	生活排水処理率（％）	91.9	92.2	上下水道課
							経常収支比率（％）	111.6 (R5実績)	112.9 (R6実績)	

■第8次上山市振興計画 中間アウトカム指標一覧

基本施策	目標	目標値 (R9年度)	R6年度 実績	R7年度 実績	基本施策 所管課	施 策	中間アウトカム指標（単位）	R6年度 実績	R7年度 実績	所管課
4－4 都市空間	「まちなかが整備され、快適で魅力的な都市空間づくりができている」と感じる市民の割合	100%	14.7%	15.6%	建設課	4－4－1 魅力的な都市の基盤整備	公園の満足度（％）	78.6	70.0	建設課
							かみのやま温泉駅周辺(※6)における休日の歩行者量（人） ※6 3地点（観光案内所前、駅東西自由通路、旧トキワ館前）	922	1,019	
							かみのやま温泉駅周辺(※6)における休日の二輪車通行量（台） ※6 3地点（観光案内所前、駅東西自由通路、旧トキワ館前）	183	164	
							都市機能誘導区域における地価公示価格（円）	31,200	31,400	
						4－4－2 歴史を活かした特色ある景観づくりの推進	景観形成支援事業活用件数（件）	2	3	建設課
							市が主催する景観の魅力発信事業への参加者数（人）	283	397	
						4－4－3 安全な住宅環境づくり	空き家の利活用件数（件）	30	26	建設課
							空き家の解体件数（件）	7	3	
						4－4－4 快適な環境による移住・定住の促進	支援制度の活用による移住者数（人）	46	61	建設課
							持家取得に関する支援制度の活用による定住者数（人）	147	174	
4－5 公共交通	「市内公共交通が整っている」と感じている市民の割合	100%	14.5%	17.9%	市政戦略課	4－5－1 民間事業者が運営する公共交通の維持・確保	民間バス市内路線 1日あたり便数（便）	8	5.5	市政戦略課
							民間バス上山山形都市間路線 1日あたり便数（便）	31.4	31.4	
						4－5－2 市営公共交通の運行	市営バス市内循環線年間利用者数（人）	7,421	8,064	市政戦略課
							市営予約制乗合タクシー年間利用者数（人）	9,858	9,596	
4－6 防災・減災	自主防災組織が活動している割合	100%	100%	100%	庶務課	4－6－1 自主防災組織活性化と防災・減災体制の強化	防災講座を開催する自主防災組織数（団体）	21	14	庶務課

■第8次上山市振興計画 中間アウトカム指標一覧

基本施策	目標	目標値 (R9年度)	R6年度 実績	R7年度 実績	基本施策 所管課	施 策	中間アウトカム指標（単位）	R6年度 実績	R7年度 実績	所管課
4－7 消防	全焼火災阻止率	100%	45.5%	50.0%	消防本部	4－7－1 消防力の充実強化	搬送心肺停止事案における心肺蘇生実施率（％）	60	53	消防本部
							立入検査不備事項改善率（％）	57	46	
						4－7－2 消防団を中核とした 地域防災力の充実強化	ポンプ操作講習会受講率（％）	39	38	消防本部
							教育訓練参加者数（人）	8	5	
4－8 防犯・交通安全	「犯罪や交通事故が少ない」と感じている市民の割合	100%	65.7%	66.5%	市民生活課	4－8－1 防犯対策と安全な 消費生活の推進	人口1万人当たりの犯罪認知件数（件）	30.6	32.1	市民生活課
							消費相談における相談完了率（％）	100	100	
						4－8－2 交通安全対策の推 進	人口1万人当たりの人身事故件数（件）	27.3	21.5	市民生活課
							高齢者ドライバーが第一当事者となった人身事故件数 （件）	18	14	

所属

建設課

振興計画

第4章 持続 「安心して暮らせる持続可能なまちをつくり
ます」
4-1 道路

施策

4-1-1 道路環境の充実

創生総合戦略

4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 道路環境の充実 道路維持整備の推進 4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 道路環境の充実 協働による生活道路の利便性向上

方針

計画的な道路の維持整備を推進し、官民協働の補助制度の充実を図りながら、利便性の向上を図ります。

目標

1 道路維持整備の推進

道路維持整備の計画に基づき、計画的かつ予防保全的な維持管理を行い、予算の平準化とコスト縮減を図り、安全で快適な道路環境を確保します。

2 協働による生活道路の利便性向上

道路改修等に対する様々な住民ニーズに対し、行政の役割と市民が担い協働すべき点を明確にし、住民理解を得るための周知を行いながら、補助制度の活用を促し、早期の利便性向上を図ります。

除雪機械の整備充実を図り地域住民と連携しながら、除排雪による冬季の道路交通の確保に努めます。

実績

1 道路維持整備の推進

- (1) 通行の利便性を向上させるため、23路線の側溝改良工事、1路線の道路改良工事、12路線の舗装工事、その他施設整備工事を実施しました。
- (2) 老朽化した橋梁の長寿命化を図るため、3橋の橋梁補修工事、6橋の補修設計、118橋の点検診断を実施しました。また、繰越事業にて7橋の橋梁補修工事を実施しました。
- (3) 新たな産業団地整備に伴い2路線の道路新設工事、舗装修繕のため2路線の舗装改良工事を実施しました。また、繰越事業にて道路新設工事2路線を実施しました。
- (4) 道路施設101箇所、舗装38箇所の補修を実施し、道路環境の向上を図りました。
- (5) 早朝除雪0回、日中除雪1回の出動を行い、冬季交通基盤の確保を図りました。
- (6) 県道路整備事業において、3路線の側溝整備工事を実施し事業負担金を支出しました。

2 協働による生活道路の利便性向上

- (1) 地域のみちづくりサポート事業は、13団体の申請を受け10団体を採択し実施しました。
- (2) 除雪事業に対する地域連携の取組として、小型除雪機を12団体に貸与しました。

中間アウトカム指標	単位	令和 6 年度実績	令和 7 年度実績	令和 8 年度実績	令和 9 年度実績
補助制度(※5)の活用団体数 ※5 地域のみちづくりサポート事業、公共物補助事業	団体	11	11	—	—
道路工事整備率	%	66.5	85.3	—	—

指標の変化に対する分析

補助制度の活用実績は、例年並み（過去3か年平均11団体）の採択件数と考えます。
道路工事整備率は、翌年度への繰越工事分を除き計画通りの実績です。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き補助制度の周知を行い活用を促進することで、道路の利用者の利便性が向上するよう効率的、効果的な取組を推進してまいります。
道路維持整備の計画に基づき、計画的な予算の平準化に努めます。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	土木総務費	予算科目	01一般会計・08 土木費・01土木管理費・01土木総務費
施策	4－1－1 道路環境の充実			創生総合戦略	該当なし

事業概要

道路改良維持等の土木業務に関する事務等を行います。

目的

市道等の社会資本の充実を図り、市民生活の利便性と安全性を確保するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		266	150

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

当課職員による全国大会等の参加がなく旅費支出がなかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、各種団体と連携・協力しながら、本市の社会資本整備の充実を図り、市民生活の利便性の向上を目指します。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	道路橋梁総務費	予算科目	01一般会計・08 土木費・02道路橋梁費・01道路橋梁総務費
施策	4－1－1 道路環境の充実			創生総合戦略	該当なし

事業概要

道路台帳の整備等、適正な道路管理を行います。

目的

円滑な道路管理を図り、市道敷地の未登記処理業務を実施して、適正な道路管理を行うため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		6,035	6,020

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、地籍調査や道路河川等の県事業と連携しながら、効率的に未登記処理を進めてまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	道路管理費	予算科目	01一般会計・08 土木費・02道路橋梁費・02道路維持費
施策	4－1－1 道路環境の充実			創生総合戦略	4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 道路環境の充実 道路維持整備の推進

事業概要

老朽化した側溝等、道路施設修繕やひび割れ等の舗装補修作業を実施します。

目的

市道等の社会資本の充実を図り、市民生活の利便性と安全性を確保するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		39,064	38,964

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

道路施設は経年劣化による損傷やひび割れ等の老朽化が著しく増加傾向であり、道路パトロールや地区会等の情報提供による道路損傷に対し、引き続き迅速かつ効率的な修繕等を実施します。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 建設課 事業 除雪対策費 予算科目 01一般会計・08 土木費・02道路橋梁費・02道路維持費

施策 4－1－1 道路環境の充実 創生総合戦略 4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 道路環境の充実 道路維持整備の推進

事業概要

冬季の市民生活と交通基盤の確保を行うために市道、歩道、生活道路、公共施設等の除雪作業を実施します。

目的

冬季の道路交通の確保及び公共機関の除雪作業等を円滑かつ適正に行うことにより、雪害から市民生活を守るため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		208,493	208,259

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

通学路指定道路の優先除雪を徹底するとともに、除雪費計算システムを検証し、引き続き路線組換等による除雪作業の効率化に取り組んでまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	地域のみちづくりサポート事業費	予算科目	01一般会計・08 土木費・02道路橋梁費・02道路維持費
施策	4－1－1 道路環境の充実			創生総合戦略	4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 道路環境の充実 協働による生活道路の利便性向上

事業概要

市民自らの発意により道路整備を行おうとする地域の団体に対し、道路資材（舗装、砕石、側溝等）及び機械の提供による支援を行うことにより、地域の生活環境整備を早期に行い、市民と行政による協働のまちづくりを行います。

目的

市民と行政による協働のまちづくりに資するため、市民自らの発意による道路整備を行うため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標	道路環境の整備により、地区会等市民満足度が向上した状態	道路整備を行い利便性の向上が図られた状態	事業制度の周知回数1回に対し、13団体の申請がありました。
活動指標	事業制度の周知回数	1 回	1 回
事業費（千円）		10,000	9,838

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、事業制度の周知を行い、活用を推進してまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	市単独道路整備事業費	予算科目	01一般会計・08 土木費・02道路橋梁費・03道路新設改良費
施策	4－1－1 道路環境の充実			創生総合戦略	4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 道路環境の充実 道路維持整備の推進

事業概要

市民生活に密着する生活道路について、緊急性や重要性に基づき、道路改良工事や側溝設置工事等を実施します。

目的

市道の側溝整備、舗装新設・改良等の整備を行い、生活道路の利便性と安全性を確保するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		408,278	390,214

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

近年、道路施設の老朽化に伴う、地区会等からの整備要望が多いため、道路整備計画との調整を図りながら計画的に実施してまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	県道路整備事業負担金	予算科目	01一般会計・08 土木費・02道路橋梁費・03道路新設改良費
施策	4－1－1 道路環境の充実			創生総合戦略	該当なし

事業概要

県の道路整備事業（主要地方道、県道ほか）の促進を図ります。

目的

市民生活の利便性と安全性を確保するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		1,300	1,243

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

道路環境の向上のため、地元地区会と連携しながら要望活動に取り組み、整備促進を図ります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	道路事業費	予算科目	01一般会計・08 土木費・02道路橋梁費・04社会資本整備総合交付金事業費
施策	4－1－1 道路環境の充実			創生総合戦略	4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 道路環境の充実 道路維持整備の推進

事業概要

道路新設改良工事（産業団地3号線ほか）及び舗装改良工事（上生居堀切線ほか）並びに橋梁補修工事（金瓶橋ほか）などを行います。

目的

地域の振興や地域住民の安全で快適な暮らしを支え、道路の利便性と安全性を確保するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		207,842	135,314

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

橋梁補修工事及び道路新設工事について、橋梁の損傷度合いが激しく設計変更が伴ったこと、また、道路埋設物工事との調整に時間を要したことから年度内完成が難しいため翌年度へ繰越を行ったものです。

目標の実現に向けた今後の取組

事業の必要性や交付金事業の配分率向上について、引き続き国及び県へ強く要望等を実施してまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	単独土木施設災害復旧事業費	予算科目	01一般会計・11 災害復旧費・02土木施設災害復旧費・01単独土木施設災害復旧費
施策	4－1－1 道路環境の充実 4－2－1 河川環境の保全			創生総合戦略	該当なし

事業概要

公共土木施設災害復旧事業の採択基準に該当しない道路・河川等土木施設の災害復旧事業を行います。

目的

被災した道路、河川等の土木施設を復旧し、市民の生命と財産を守るため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		20,875	10,738

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

一時的な豪雨による道路法面や普通河川護岸など土木施設の軽微な被災の復旧を行いました。異常な天然現象による大規模な災害発生はなかったため予算に対し事業費が減少しました。

目標の実現に向けた今後の取組

災害発生時は公共土木施設災害復旧事業の採択の可否を判断し、迅速な現状復旧を行ってまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 建設課 事業 公共土木施設災害復旧事業費 予算科目 01一般会計・11 災害復旧費・02土木施設災害復旧費・02公共土木施設災害復旧費

施策 4－1－1 道路環境の充実 4－2－1 河川環境の保全 創生総合戦略 該当なし

事業概要

公共土木施設災害復旧事業（国庫負担金）として道路・河川等土木施設の災害復旧事業を行います。

目的

被災した道路、河川等の土木施設を復旧し、市民の生命と財産を守るため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		15,200	0

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

公共土木施設災害復旧事業による復旧工事はありませんでした。

目標の実現に向けた今後の取組

災害発生時は公共土木施設災害復旧事業の採択の可否を判断し、迅速な現状復旧を行ってまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 建設課 事業 市単独道路整備事業費（繰越） 予算科目 01一般会計・08 土木費・02道路橋梁費・03道路新設改良費

施策 4－1－1 道路環境の充実 創生総合戦略 4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 道路環境の充実 道路維持整備の推進

事業概要

市道石堂4号線道路改良工事を行います。

目的

市道の側溝整備、舗装新設・改良等の整備を行い、生活道路の利便性と安全性を確保するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		5,000	4,863

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

近年、道路施設の老朽化に伴い、地区会等からの整備要望が多いため、道路整備計画との調整を図りながら計画的に実施してまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	道路事業費（繰越）	予算科目	01一般会計・08 土木費・02道路橋梁費・04社会資本整備総合交付金事業費
施策	4－1－1 道路環境の充実			創生総合戦略	4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 道路環境の充実 道路維持整備の推進

事業概要

道路新設改良工事（産業団地3号線ほか）及び橋梁補修工事（前川橋ほか）を行います。

目的

地域の振興や地域住民の安全で快適な暮らしを支え、道路の利便性と安全性を確保するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		137,000	136,029

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、事業の早期完成に向け計画的に実施してまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	交通安全施設整備事業費	予算科目	01一般会計・08 土木費・02道路橋梁費・03道路新設改良費
施策	4-1-1 道路環境の充実 4-8-2 交通安全対策の推進			創生総合戦略	4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 道路環境の充実 道路維持整備の推進

事業概要

地区会からの要望等に基づき、区画線（路面標示）、道路照明灯、カーブミラー、ガードレール設置等道路の交通安全施設整備を行います。

目的

交通事故を未然に防ぎ、安全な交通環境を確保するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		8,000	7,957

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、通学路点検や地区会要望による交通安全対策箇所について、積極的に整備を実施してまいります。

所属

建設課

振興計画

第4章 持続 「安心して暮らせる持続可能なまちをつくり
ます」
4-2 河川

施策

4-2-1 河川環境の保全

創生総合戦略 4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 河川環境の保全 河川愛護活動の推進と河川の維持保全

方針

河川愛護の意識高揚を図り、河川環境の保全に取り組みます。

目標

1 河川愛護活動の推進

河川の環境保全を図るため、河川敷の草刈りや美化活動を行う河川愛護団体やアシスト企業の増加を目指し啓発活動を推進します。また、市民の河川愛護の意識高揚を図ることで、美化活動を推進し河川環境の保全に取り組みます。

2 河川の維持保全

異常気象による水害を未然に防止するため、河川の浚渫や支障木の伐採を推進し、流下断面を確保することで、河川の維持保全に取り組みます。

実績

1 河川愛護活動の推進

(1) 県と連携し、河川愛護活動団体の継続申請受付と進達を実施しました。

(2) 河川一斉清掃について市報掲載や愛護啓発ポスター及びチラシを地区公民館や学校等の関係機関へ配布し啓発活動を実施しました。

2 河川の維持保全

(1) 3河川の浚渫及び支障木伐採を実施しました。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
河川愛護活動団体数	団体	16	17	—	—
河川一斉清掃の参加者数	人	5,075	4,548	—	—

指標の変化に対する分析

河川愛護活動団体数は、地域の自発的な活動から新たな担い手として1団体増加しました。一方、河川一斉清掃の参加者数は、少子高齢化による担い手不足により減少傾向にあります。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、河川の美化及び愛護のための啓発活動をさらに促進するほか、活動しやすい環境づくりを進めてまいります。また、今後とも計画的な河川浚渫等を実施し、河川の維持保全に努めます。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	河川管理費	予算科目	01一般会計・08 土木費・03河川費・01河川総務費
施策	4－2－1 河川環境の保全			創生総合戦略	4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 河川環境の保全 河川愛護活動の推進と河川の維持保全

事業概要

河川の維持保全、河川改修事業の促進、水辺環境整備の推進、市民主体の河川美化活動等の推進を図ります。

目的

河川における市民の安心・安全を確保し、自然豊かな水辺空間やふれあいと憩いの場を確保するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		16,275	15,204

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

河川愛護活動の啓発と市民の安全・安心を確保するために適正な維持管理を行います。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	単独土木施設災害復旧事業費	予算科目	01一般会計・11 災害復旧費・02土木施設災害復旧費・01単独土木施設災害復旧費
施策	4－1－1 道路環境の充実 4－2－1 河川環境の保全			創生総合戦略	該当なし

事業概要

公共土木施設災害復旧事業の採択基準に該当しない道路・河川等土木施設の災害復旧事業を行います。

目的

被災した道路、河川等の土木施設を復旧し、市民の生命と財産を守るため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		20,875	10,738

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

一時的な豪雨による道路法面や普通河川護岸など土木施設の軽微な被災の復旧を行いました。異常な天然現象による大規模な災害発生はなかったため予算に対し事業費が減少しました。

目標の実現に向けた今後の取組

災害発生時は公共土木施設災害復旧事業の採択の可否を判断し、迅速な現状復旧を行ってまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	公共土木施設災害復旧事業費	予算科目	01一般会計・11 災害復旧費・02土木施設災害復旧費・02公共土木施設災害復旧費
施策	4－1－1 道路環境の充実 4－2－1 河川環境の保全			創生総合戦略	該当なし

事業概要

公共土木施設災害復旧事業（国庫負担金）として道路・河川等土木施設の災害復旧事業を行います。

目的

被災した道路、河川等の土木施設を復旧し、市民の生命と財産を守るため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		15,200	0

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

公共土木施設災害復旧事業による復旧工事はありませんでした。

目標の実現に向けた今後の取組

災害発生時は公共土木施設災害復旧事業の採択の可否を判断し、迅速な現状復旧を行ってまいります。

所属

上下水道課

振興計画

第4章 持続 「安心して暮らせる持続可能なまちをつくり
ます」
4-3 上下水道

施策

4-3-1 安全で良質な水の安定供給

創生総合戦略

該当無し

方針

水道事業の健全経営を図りながら老朽化した水道施設の更新を進め、安全・安心な水の安定供給を確保します。

目標

1 水道施設の適正管理

漏水管や老朽管および配水池、ポンプ場等の機器の計画的な更新等を行い、給水障害が生じないように維持管理を徹底します。

2 水道事業の安定した経営

人口減少下でも安全で良質な水を安定的に供給するため、長期的スパンで持続可能な経営に取り組みます。

実績

1 水道施設の適正管理

(1) 計画的に老朽管の更新や基幹管路の耐震化、配水池やポンプ計装機器等の定期的な保守点検を行い、漏水調査等で確認された漏水箇所の修繕を早急に対処し水道施設を適正に管理しました。

2 水道事業の安定した経営

(1) 水道料金の収納率98.4%（前年同値）を保つとともに、経常収支比率は100%以上を確保する見込みです。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
上水道有収率	%	82.2	79.7	—	—
基幹管路の耐震適合率	%	32.3	32.6	—	—

指標の変化に対する分析

令和4年度より年間を通じ漏水調査を行うことにより、有収率は少しずつ改善傾向にありましたが、配水管の老朽化の進行に伴い昨年度と比べ2.5%低下しました。なお、最も有収率が低下した令和3年度から2.6%向上しました。

耐震化率は、国の交付金を活用し広域避難所である上山明新館高校への給水ルートを更新を行い0.3%増加しました。

目標の実現に向けた今後の取組

有収率向上に向け、今後も年間を通じた調査・対策を行い、計画的かつ効率的な管路更新を推進し、水道施設の適正な管理に努めます。

また、水道供給費用を料金収入により賄えるよう水道料金改定の検討を進めます。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	上下水道課	事業	小規模水道施設管理費	予算科目	01一般会計・04 衛生費・01保健衛生費・01保健衛生総務費
施策	4－3－1 安全で良質な水の安定供給			創生総合戦略	該当なし

事業概要

古屋敷、上ノ原、蔵王、蔵王坊平の各小規模水道施設の維持管理を実施し、安全安心な水を供給します。

目的

小規模水道区域において安全で良質な飲料水の安定供給を図るため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		4,988	4,791

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

今後も小規模水道区域に安全で良質な飲料水を供給できるよう、施設の維持管理を行います。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	上下水道課	事業	水道事業会計負担金	予算科目	01一般会計・04 衛生費・01保健衛生費・01保健衛生総務費
施策	4－3－1 安全で良質な水の安定供給			創生総合戦略	該当なし

事業概要

一般会計から水道事業会計への負担金を支出します。

目的

水道事業会計の安定的経営のため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		19,275	19,275

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

所属

上下水道課

振興計画

第4章 持続 「安心して暮らせる持続可能なまちをつくり
ます」
4-3 上下水道

施策

4-3-2 浸水被害の防止

創生総合戦略 該当無し

方針

集中豪雨等による浸水被害を防止します。

目標

1 公共下水道事業浸水対策

集中豪雨等による浸水被害を防止するため、上山市公共下水道事業計画に基づき雨水排水路等の整備を促進し、安心できる市民生活の確保に努めます。

実績

1 公共下水道事業浸水対策

(1) 上山市公共下水道事業計画に基づき浸水対策雨水排水路整備工事を産業団地排水区において、ボックスカルバート等敷設を152m実施しました。また、長清水排水区においてボックスカルバート敷設工事555mを実施しました。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
浸水対策整備率	%	78.9	80.4	—	—

指標の変化に対する分析

産業団地排水区の浸水対策整備完了に伴い、浸水対策整備率が上昇しました。

目標の実現に向けた今後の取組

浸水対策下水道管路敷設矢来四丁目工区（長清水排水区）残施工区間を令和8年度中に整備を進め、浸水被害防止を図ります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 上下水道課 事業 下水道事業会計負担金 予算科目 01一般会計・08 土木費・04都市計画費・01都市計画総務費

施策 4－3－2 浸水被害の防止 4－3－3 下水道の適正管理と普及促進 創生総合戦略 該当なし

事業概要

一般会計から下水道事業会計（公共下水道事業）へ負担金を支出します。

目的

下水道事業（公共下水道事業）の健全な経営を行うため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		351,000	350,438

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

所属

上下水道課

振興計画

第4章 持続 「安心して暮らせる持続可能なまちをつくり
ます」
4-3 上下水道

施策

4-3-3 下水道の適正管理と普及促進

創生総合戦略

該当無し

方針

下水道事業の健全経営を図りながら施設の適正管理に努め、公共下水道・浄化槽の普及促進を行います。

目標

1 下水道施設の適正管理

老朽化した処理施設および管きょの計画的な更新等を行い、施設の適正管理に努めます。

2 水洗化の推進

上山市生活排水処理基本計画に基づく事業の推進と排水設備工事への補助制度等により水洗化を推進します。

3 下水道事業の安定した経営

人口減少下でも安定的に汚水を処理する環境を維持していくために、長期的スパンで持続可能な経営に取り組みます。

実績

1 下水道施設の適正管理

(1) 老朽化した処理施設及び管きょ更生104m、マンホール蓋68箇所を計画的に改築し、施設を適正に管理しました。

2 水洗化の推進

(1) 上山市生活排水処理基本計画に基づく事業の推進と合併処理浄化槽設置及び排水設備設置に対し補助制度を実施するなど水洗化を推進しました。 合併
処理浄化槽設置補助 交付件数5件 金額4,593千円 排水設備設置補助 交付件数2件 金額80千円

3 下水道事業の安定した経営

(1) 下水道使用料（農集排、浄化槽含む）の収納率89.7%（前年同程度）を保つとともに、経常収支比率は100%以上を確保する見込みです。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
生活排水処理率	%	91.9	92.2	—	—
経常収支比率	%	111.6(R5実績)	112.9(R6実績)	—	—

指標の変化に対する分析

公共下水道事業の推進と排水設備工事への補助制度等により生活排水処理率が上昇しました。
また、収入の確保など、健全経営を図ることで経常収支比率は上昇しました。

目標の実現に向けた今後の取組

老朽化した処理施設及び管きょの計画的な点検・調査、更新等を行い施設の適正管理に努めます。また、公共下水道への接続、又は浄化槽設置整備事業の推進により生活環境の改善及び公共用水域の水質保全に努めます。
汚水処理費用を使用料収入でまかなえるよう下水道使用料改定の検討及び農業集落排水使用料の従量制化を進めます。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

上下水道課

事業

浄化槽設置整備事業費

予算科目

01一般会計・04 衛生費・01保健衛生費・04環境衛生

施策

4－3－3 下水道の適正管理と普及促進

創生総合戦略

該当なし

事業概要

市民皆水洗化を目指し、公共下水道、農業集落排水区域以外の地区において、合併処理浄化槽の整備促進を図るため補助金を交付します。

目的

生活雑排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、公衆衛生の向上と生活環境の保全を図るため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		10,142	4,601

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

浄化槽整備補助対象地区（公共下水道、農業集落排水区域以外の地区）では、高齢者世帯等の割合が高く、単独処理浄化槽などから合併処理浄化槽への転換を見送る例が多いことなどから、申請件数が想定より少なかったためです

目標の実現に向けた今後の取組

浄化槽整備に関する補助制度の利用促進を図るため、引き続き市報やホームページ等により周知を行います。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	上下水道課	事業	下水道事業会計負担金	予算科目	01一般会計・04 衛生費・01保健衛生費・04環境衛生
施策	4－3－3 下水道の適正管理と普及促進			創生総合戦略	該当なし

事業概要

一般会計から下水道事業会計（浄化槽事業）へ負担金を支出します。

目的

下水道事業（浄化槽事業）の健全な経営を行うため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		10,150	10,150

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	上下水道課	事業	下水道事業会計負担金	予算科目	01一般会計・06 農林水産業費・01農業費・06農村整備費
施策	4－3－3 下水道の適正管理と普及促進			創生総合戦略	該当なし

事業概要

一般会計から下水道事業会計（農業集落排水事業）へ負担金を支出します。

目的

下水道事業（農業集落排水事業）の健全な経営を行うため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		104,787	104,787

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	上下水道課	事業	下水道事業会計負担金	予算科目	01一般会計・08 土木費・04都市計画費・01都市計画総務費
施策	4－3－2 浸水被害の防止 4－3－3 下水道の適正管理と普及促進			創生総合戦略	該当なし

事業概要

一般会計から下水道事業会計（公共下水道事業）へ負担金を支出します。

目的

下水道事業（公共下水道事業）の健全な経営を行うため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		351,000	350,438

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

所属

建設課

振興計画

第4章 持続 「安心して暮らせる持続可能なまちをつくり
ます」
4-4 都市空間

施策

4-4-1 魅力的な都市の基盤整備

創生総合戦略 4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 魅力的な都市の基盤整備 都市の基盤となる施設の整備の推進

方針

公園施設の整備維持を推進するとともに、駅周辺の環境整備に取り組みます。

目標

1 都市の基盤となる施設の整備の推進

駅東エリアにおける新たな公園緑道の整備や、既存の都市公園の整備を進め魅力の向上を図るとともに、公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の老朽化に対する維持修繕や更新を進めます。また、まちの魅力を高めるため、かみのやま温泉駅周辺の環境整備や、駅東西を結ぶアビヤント・Kの改修等に取り組みます。

実績

1 都市の基盤となる施設の整備の推進

- (1) かみのやま温泉駅周辺整備事業により、駅東エリアの第1期工事及び駅東駐輪場の改修を行いました。
- (2) 公園施設長寿命化計画に基づき、鷺ヶ袋公園の施設更新を実施しました。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
公園の満足度	%	78.6	70.0	—	—
かみのやま温泉駅周辺(※6)における休日の歩行者・二輪車 通行量 ※6 3地点(観光案内所前、駅東西自由通路、旧トキワ館 前)	人	922	1,019	—	—
かみのやま温泉駅周辺(※6)における休日の歩行者・二輪車 通行量 ※6 3地点(観光案内所前、駅東西自由通路、旧トキワ館 前)	台	183	164	—	—
都市機能誘導区域における地価公示価格	円	31,200	31,400	—	—

指標の変化に対する分析

公園の満足度については、公園での大規模なイベントに合わせて公園利用アンケートを実施し、公園利用者から回答をいただきました。昨年度から下がってはいるものの、70%台を維持しており、高い満足度を得たものと考えます。歩行者・二輪車の通行量については、駅前における新規店舗の開業など回遊性が高まっているものと考えます。都市機能誘導区域における地価公示価格については、公園住宅イッテの今後の魅力向上などの期待もあり、上昇傾向にあるものと考えます。

目標の実現に向けた今後の取組

公園については、通常管理や委託による点検業務のほか、地区会等と連携した危険・修繕箇所の確認や公園に対する市民ニーズの把握に努めながら、公園施設の更新・修繕を行ってまいります。また、かみのやま温泉駅周辺整備事業については、人の流れや滞在を促すと同時に、暮らす人にも訪れる人にも賑わいと居心地の良さを生み出すことを目指し、3本の柱（駅東エリア整備/アビヤント・K改修整備/駅西エリア整備）に沿って取り組んでまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	都市計画総務費	予算科目	01一般会計・08 土木費・04都市計画費・01都市計画総務費
施策	4－4－1 魅力的な都市の基盤整備			創生総合戦略	該当なし

事業概要

本市の特性を活かした個性あるまちづくりを目指し、都市計画業務全般を行います。

目的

都市計画審議会の開催や、都市計画に関する全般的な業務の遂行を図るため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		2,312	1,516

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

職員の全国大会等の参加がなかったため旅費支出がありませんでした。また、修繕料が不用だったため支出がありませんでした。

目標の実現に向けた今後の取組

都市計画審議会を適宜開催し、都市計画事業をわかりやすく報告します。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	都市計画事業費	予算科目	01一般会計・08 土木費・04都市計画費・01都市計画総務費
施策	4－4－1 魅力的な都市の基盤整備 4－4－2 歴史を活かした特色ある景観づくりの推進			創生総合戦略	4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 歴史を活かした特色ある景観づくりの推進 特色あるまち並み形成の促進 4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 歴史を活かした特色ある景観づくりの推進 景観の魅力発信による意識の醸成

事業概要

地域の魅力に繋がる駅周辺の環境を整えるとともに、特色あるまち並みを形成し、まちの魅力を向上させる景観整備を促進します。

目的

まちの魅力が高まる、かみのやま温泉駅周辺の環境整備を進めるとともに、古き良き歴史と風情あるまち並みを感じられる特色ある景観を保全し、個性と活力あるまちづくりを実現するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標	特色あるまち並み形成が促進されている状態	特色あるまちなみ形成が促進されている状態	無電柱化推進計画を策定するとともに、景観整備の推進や景観啓発の取組を通じて、特色あるまちなみ形成を促進しました。
活動指標	市民等への補助制度の周知回数	2 回	2 回
	景観の啓発・学習機会の創出	5 回	6 回
事業費（千円）		12,804	9,787

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

景観整備については、補助金の周知を行いました。結果的に申請に至らなかったため事業費が減額となりました。景観の啓発については、景観探陰まちあるきの実施回数を増やしたためです。

目標の実現に向けた今後の取組

景観への市民意識の醸成を図るため、現在行っている啓発活動を継続するとともに、景観資源である上山城周辺の坂道標柱の更新を市民と協働で取り組んでまいります。
引き続き、個人や団体が実施する景観形成の取組に対し支援を行ってまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	かみのやま温泉駅周辺整備事業費	予算科目	01一般会計・08 土木費・04都市計画費・01都市計画総務費
施策	4-4-1 魅力的な都市の基盤整備 4-4-2 歴史を活かした特色ある景観づくりの推進			創生総合戦略	4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 魅力的な都市の基盤整備 都市の基盤となる施設の整備の推進 4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 歴史を活かした特色ある景観づくりの推進 特色あるまち並み形成の促進

事業概要

かみのやま温泉駅を中心とした賑わいと居心地の良さを感じるまちを目指すため、まちの魅力を向上させる駅東エリア、駅西エリア、アビヤント・Kの環境整備を促進します。

目的

まちの魅力を高め、地域の賑わいと活力向上に繋がる、かみのやま温泉駅周辺の環境整備を進め、個性と活力あるまちづくりを実現するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		1,026,681	425,099

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

駅東エリア整備に伴う工事費及び物件移転完了後の用地費・補償費の完了払い金の繰越があるためです。

目標の実現に向けた今後の取組

かみのやま温泉駅周辺整備事業については、人の流れや滞在を促すと同時に、暮らす人にも訪れる人にも賑わいと居心地の良さを生み出すことを目指し、3本の柱（駅東エリア整備/アビヤント・K改修整備/駅西エリア整備）に沿って取り組んでまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

建設課

事業

公園管理費

予算科目

01一般会計・08 土木費・04都市計画費・02公園費

施策

4－4－1 魅力的な都市の基盤整備

創生総合戦略

4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 魅力的な都市の基盤整備 都市の基盤となる施設の整備の推進

事業概要

市民のレクリエーション・コミュニティの場、人々の心を和ます場である公園の適正な維持管理を行います。

目的

公園（29公園）を適正に維持管理し、公園利用者に快適で安全・安心な場を継続的に提供するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		56,010	54,226

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

通常管理や委託による点検業務のほか、地区会等と連携した危険・修繕箇所の確認や公園に対するニーズの把握に努めながら、様々な制度を活用し公園施設の更新・修繕を行ってまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	都市計画事業費（繰越）	予算科目	01一般会計・08 土木費・04都市計画費・01都市計画総務費
施策	4-4-1 魅力的な都市の基盤整備 4-4-2 歴史を活かした特色ある景観づくりの推進			創生総合戦略	4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 歴史を活かした特色ある景観づくりの推進 特色あるまち並み形成の促進 4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 歴史を活かした特色ある景観づくりの推進 景観の魅力発信による意識の醸成

事業概要

地域の魅力に繋がる駅周辺の環境を整えるとともに、特色あるまち並みを形成し、まちの魅力を向上させる景観整備を促進します。

目的

まちの魅力を高め、地域の賑わいと活力向上に繋がる、かみのやま温泉駅周辺の環境整備を進めるとともに、古き良き歴史と風情あるまち並みを感じられる特色ある景観を保全し、個性と活力あるまちづくりを実現するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		15,330	15,182

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

かみのやま温泉駅周辺整備事業については、人の流れや滞在を促すと同時に、暮らす人にも訪れる人にも賑わいと居心地の良さを生み出すことを目指し、3本の柱（駅東エリア整備/アビヤント・K改修整備/駅西エリア整備）に沿って取り組んでまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

建設課

事業

観光施設管理費

予算科目

01一般会計・07 商工費・01商工費・05観光施設費

施策

3-3-1 地域全体で仕掛ける戦略的な観光振興 4-4-1 魅力的な都市の基盤整備

創生総合戦略

該当なし

事業概要

アビヤント・Kやかみのやま温泉駅駐車場、かみのやま温泉駅東側駐車場等の適正な維持管理を行います。

目的

アビヤント・Kやかみのやま温泉駅駐車場、かみのやま温泉駅東側駐車場等を適正に維持管理し、利用者に快適で安全・安心な場を継続的に提供するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		34,186	33,989

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

警備・点検・清掃など関係各社と協力・連携しながら施設の維持管理に努めるとともに、建物の老朽対策に向けた点検・調査を実施してまいります。

所属

建設課

振興計画

第4章 持続 「安心して暮らせる持続可能なまちをつくり
ます」
4-4 都市空間

施策

4-4-2 歴史を活かした特色ある景観づくりの推進

創生総合戦略

4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 歴史を活かした特色ある景観づくりの推進 特色あるまち並み形成の促進 4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 歴史を活かした特色ある景観づくりの推進 景観の魅力発信による意識の醸成

方針

古き良き歴史と風情あるまち並みを感じられる景観づくりを進めます。

目標

1 特色あるまち並み形成の促進

城下町・宿場町・温泉町としての特色のあるまち並みを形成し、景観の保全とまちの魅力向上につなげるため、店舗や住宅等の建築物の外観改修や、団体等が実施する景観づくりの取組を後押しするため、継続した支援を行います。

2 景観の魅力発信による意識の醸成

後世に残したい優れた景観の啓発や、景観の魅力を再発見・再認識する機会の創出、将来の景観づくりの担い手育成に繋がる景観学習の場を設けることにより、景観に対する意識の醸成や価値観の共有を図ります。

実績

1 特色あるまち並み形成の促進

(1) 景観の保全とまちの魅力向上につなげるため、ファサード改修・景観づくり推進事業に関するチラシの配布や隣組回覧を行うとともに、景観づくりを実施する団体へ補助金の説明を行いました。実績は、ファサード改修事業2件（前年度0件）、景観づくり推進事業1件（前年度2件）となりました。

2 景観の魅力発信による意識の醸成

(1) 景観探検まちあるきを3回開催し、延べ80人の方から本市の魅力的な景観を再発見・再認識してもらいました。（昨年度2回）
(2) 市役所1階ロビーに、県内の優れた景観と、景観づくり・保全活動に取り組んでいる地域住民を紹介する景観写真パネルを2か月設置しました。
(3) 商業祭（いろは市）で景観コーナーを設け、楽しみながら景観について学習できる場を設けたことで、317人の参加がありました。（前年度244人）

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
景観形成支援事業活用件数	件	2	3	—	—
市が主催する景観の魅力発信事業への参加者数	人	283	397	—	—

指標の変化に対する分析

景観形成支援事業については、空き店舗の改修を行う事業者等に対し補助金の周知を行ったことで、実績につながりました。魅力発信事業への参加者数については、景観について学ぶ機会を増やしたことで、増加につながりました。

目標の実現に向けた今後の取組

景観に対する意識醸成につながる取組を継続して行い、景観づくりに取り組む市民を増やしていくことで、古き良き歴史と風情あるまち並みの保全・形成につなげてまいります。また、本市の特色を生かした景観が維持できるように、景観ガイドラインなどを周知し、ファサード改修等への実施に対する財政的支援を引き続き実施してまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	都市計画事業費	予算科目	01一般会計・08 土木費・04都市計画費・01都市計画総務費
施策	4-4-1 魅力的な都市の基盤整備 4-4-2 歴史を活かした特色ある景観づくりの推進			創生総合戦略	4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 歴史を活かした特色ある景観づくりの推進 特色あるまち並み形成の促進 4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 歴史を活かした特色ある景観づくりの推進 景観の魅力発信による意識の醸成

事業概要

地域の魅力に繋がる駅周辺の環境を整えるとともに、特色あるまち並みを形成し、まちの魅力を向上させる景観整備を促進します。

目的

まちの魅力が高まる、かみのやま温泉駅周辺の環境整備を進めるとともに、古き良き歴史と風情あるまち並みを感じられる特色ある景観を保全し、個性と活力あるまちづくりを実現するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標	特色あるまち並み形成が促進されている状態	特色あるまちなみ形成が促進されている状態	無電柱化推進計画を策定するとともに、景観整備の推進や景観啓発の取組を通じて、特色あるまちなみ形成を促進しました。
活動指標	市民等への補助制度の周知回数	2 回	2 回
	景観の啓発・学習機会の創出	5 回	6 回
事業費（千円）		12,804	9,787

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

景観整備については、補助金の周知を行いました。結果的に申請に至らなかったため事業費が減額となりました。景観の啓発については、景観探陰まちあるきの実施回数を増やしたためです。

目標の実現に向けた今後の取組

景観への市民意識の醸成を図るため、現在行っている啓発活動を継続するとともに、景観資源である上山城周辺の坂道標柱の更新を市民と協働で取り組んでまいります。
引き続き、個人や団体が実施する景観形成の取組に対し支援を行ってまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	かみのやま温泉駅周辺整備事業費	予算科目	01一般会計・08 土木費・04都市計画費・01都市計画総務費
施策	4-4-1 魅力的な都市の基盤整備 4-4-2 歴史を活かした特色ある景観づくりの推進			創生総合戦略	4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 魅力的な都市の基盤整備 都市の基盤となる施設の整備の推進 4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 歴史を活かした特色ある景観づくりの推進 特色あるまち並み形成の促進

事業概要

かみのやま温泉駅を中心とした賑わいと居心地の良さを感じるまちを目指すため、まちの魅力を向上させる駅東エリア、駅西エリア、アビヤント・Kの環境整備を促進します。

目的

まちの魅力を高め、地域の賑わいと活力向上に繋がる、かみのやま温泉駅周辺の環境整備を進め、個性と活力あるまちづくりを実現するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		1,026,681	425,099

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

駅東エリア整備に伴う工事費及び物件移転完了後の用地費・補償費の完了払い金の繰越があるためです。

目標の実現に向けた今後の取組

かみのやま温泉駅周辺整備事業については、人の流れや滞在を促すと同時に、暮らす人にも訪れる人にも賑わいと居心地の良さを生み出すことを目指し、3本の柱（駅東エリア整備/アビヤント・K改修整備/駅西エリア整備）に沿って取り組んでまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	都市計画事業費（繰越）	予算科目	01一般会計・08 土木費・04都市計画費・01都市計画総務費
施策	4-4-1 魅力的な都市の基盤整備 4-4-2 歴史を活かした特色ある景観づくりの推進			創生総合戦略	4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 歴史を活かした特色ある景観づくりの推進 特色あるまち並み形成の促進 4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 歴史を活かした特色ある景観づくりの推進 景観の魅力発信による意識の醸成

事業概要

地域の魅力に繋がる駅周辺の環境を整えるとともに、特色あるまち並みを形成し、まちの魅力を向上させる景観整備を促進します。

目的

まちの魅力を高め、地域の賑わいと活力向上に繋がる、かみのやま温泉駅周辺の環境整備を進めるとともに、古き良き歴史と風情あるまち並みを感じられる特色ある景観を保全し、個性と活力あるまちづくりを実現するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		15,330	15,182

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

かみのやま温泉駅周辺整備事業については、人の流れや滞在を促すと同時に、暮らす人にも訪れる人にも賑わいと居心地の良さを生み出すことを目指し、3本の柱（駅東エリア整備/アビヤント・K改修整備/駅西エリア整備）に沿って取り組んでまいります。

所属

建設課

振興計画

第4章 持続 「安心して暮らせる持続可能なまちをつくり
ます」
4-4 都市空間

施策

4-4-3 安全な住宅環境づくり

創生総合戦略 4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 安全な住宅環境づくり 空家等の対策の推進

方針

空き家対策により安全・安心な居住環境づくりに取り組みます。

目標

1 空家等の対策の推進

空家等に関する対策を総合的かつ計画的に実施するため、「空家等の未然防止」、「空家等の適切な管理の促進」、「空家等の利活用の促進」、「緊急時の対応と特定空家等に対する適切な対応」を基本方針とした空家等対策計画に基づき、関係団体や各課と緊密に連携し、対策を推進します。

実績

1 空家等の対策の推進

(1) 第3期空家等対策計画に基づき、NPO法人、宅建協会等の関係団体と連携し、安全な住環境づくりを目指し、空家等の対策に取り組みました。空き家の利活用件数については、空き家を含む中古物件よりも新築住宅を求める方が多く、件数は減少しました。また、危険空家解体補助金についても、事前相談はあったものの基準を満たさない空き家が多かったため、解体件数が減少しました。その結果、空き家の利活用と解体件数の合計が前年度を下回る29件となりました。(前年度37件)

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
空き家の利活用件数	件	30	26	—	—
空き家の解体件数	件	7	3	—	—

指標の変化に対する分析

空き家（住み替え）バンクの成約件数は増加しましたが、空き家を含む中古物件に比べ、新築住宅を求める割合が増加したため、空き家の利活用件数が減少しました。また、空き家解体の相談はありましたが、危険空家解体補助金の基準を満たさない空き家が多かったため、解体件数が減少しました。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、NPO法人、宅建協会等と連携し、周知活動を行うとともに、市報や市HP等を活用し制度の周知に努め、危険空家の解体、空家等の利活用を促進します。また、空き家の活用事例の発信を積極的に行います。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	地域おこし協力隊推進事業費	予算科目	01一般会計・02 総務費・01総務管理費・06企画費
施策	4－4－3 安全な住宅環境づくり			創生総合戦略	4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 安全な住宅環境づくり 空家等の対策の推進

事業概要

地域おこし協力隊が空き家対策を推進するため空き家相談や空き家バンクのマッチングを図ります。また、駅前にて空き家・移住窓口を設置します。

目的

空き家の除却や利活用を推進することで、市民の安全・安心の確保、住環境の改善及び良好な住環境の改善及び良好な景観を図るため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標	周知により、空き家所有者等が相談や補助金申請をできる状態	市民や所有者等に周知されている状態	市民や所有者等に周知しました。
活動指標	市民や所有者等への周知回数	2 回	2 回
事業費（千円）		4,666	2,960

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

関連事業の遅延により移住相談窓口の開設が遅れたことや、電話や来庁による移住相談の対応を取ったため、移住相談窓口の開設に係る経費を中心に事業費が減額となりました。

目標の実現に向けた今後の取組

空き家対策及び移住推進を担う人材を採用し、市報や市HP等を活用した情報発信により、空き家や移住に関する相談が出来る環境を整え、空き家の除却や利活用、移住促進につなげていきます。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	市営住宅管理費	予算科目	01一般会計・08 土木費・05住宅費・01住宅管理費
施策	4－4－3 安全な住宅環境づくり			創生総合戦略	該当なし

事業概要

市営住宅に関する維持管理、使用料の賦課や徴収、入退去業務を行います。

目的

市営住宅の適正な維持管理を行うため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		4,352	3,163

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

維持管理のための修繕費が少なく済み、また、移転補償の対象となる住み替えも2件と少なかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

適切な修繕による施設の維持管理に努めるとともに、納期限までの使用料納付を促し、滞納分の納付計画等に基づく未納額の回収に努めます。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

建設課

事業

セーフティネット住宅供給促進事業費

予算科目

01一般会計・08 土木費・05住宅費・01住宅管理費

施策

4－4－3 安全な住宅環境づくり

創生総合戦略

該当なし

事業概要

セーフティネット住宅として登録された民間賃貸住宅を、市営美咲町住宅及び金生住宅1～9号棟の入居者の住み替え先として供給するため、賃貸人（大家）に対して家賃低廉化に要する費用の補助を行います。

目的

美咲町住宅及び金生住宅1～9号棟は、耐用年数を超過し老朽化が著しく、現行の耐震基準を満たさないことから、住み替えを促すことで入居者の安全の確保と居住環境の改善を行うため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		2,902	1,766

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

補助制度を周知し利用者の増加を図りましたが、令和7年度はこの制度を利用した住み替えがありませんでした。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、市営住宅入居者にセーフティネット住宅と補助制度の周知を行い、本人の希望に沿ったうえで住み替えを促していきます。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	住宅リフォーム支援事業費	予算科目	01一般会計・08 土木費・05住宅費・02住宅支援費
施策	4－4－3 安全な住宅環境づくり			創生総合戦略	4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 快適な環境による移住・定住の促進 良好な居住環境による定住促進

事業概要

自ら居住する住宅の部分補強、省エネ化、バリアフリー化等のリフォームを行う所有者に対し、補助金を交付します。

目的

既存住宅の住宅環境の向上及び住宅投資の波及効果により地域経済の活性化を図るため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標	市民及び市内施工業者に周知され、該当者が相談または申請できる状態	市民等に周知されている状態	市報・ホームページへの掲載等により周知し、196件の補助を行いました。
活動指標	市民等への補助制度に関する周知回数	2 回	2 回
事業費（千円）		23,053	22,144

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、市報、ホームページ等を通じて制度を周知し、利用促進に取り組めます。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

建設課

事業

住宅・建築物安全ストック事業費

予算科目

01一般会計・08 土木費・05住宅費・02住宅支援費

施策

4－4－3 安全な住宅環境づくり

創生総合戦略

該当なし

事業概要

市民の居住用の住宅について、木造住宅耐震診断士の派遣及び診断料の一部支援を行います。

目的

市民の居住用の住宅について、地震に対する安全な居住環境の維持・向上を図るため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標	住宅の耐震性等が居住者に認識された状態	建築物の耐震性が確認された状態	市報及びホームページ等での周知により、耐震診断1件の補助を行いました。
活動指標	市民等への補助制度に関する周知回数	2 回	2 回
事業費（千円）		7,642	6,140

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、市報、ホームページ等を通じて市民に制度を周知し、耐震意識の向上と制度利用を促します。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	空家等対策事業費	予算科目	01一般会計・08 土木費・05住宅費・02住宅支援費
施策	4－4－3 安全な住宅環境づくり			創生総合戦略	4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 安全な住宅環境づくり 空家等の対策の推進

事業概要

空家等対策計画を推進するため、空き家解体補助金により、空き家の除却や利活用に繋がります。
 中心市街地のにぎわいを創出するため空き家や空き家の敷地などを活用する担い手づくりとともに魅力ある滞在空間づくりとして社会実験をします。

目的

空家等対策計画に基づき、危険空家解体に対する補助を行うことで、危険な空き家を除却し、市民の安全・安心を確保、住環境の改善及び良好な景観を図ると共に、空き家の有効活用を促進するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標	周知により、危険な空き家の所有者等が相談又は申請できる状態	市民や所有者等に周知されている状態	市民や所有者等に周知した結果3件が補助対象となりました。
活動指標	市民や所有者等への補助制度の周知回数	2 回	2 回
事業費（千円）		7,094	4,968

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

市営新湯駐車場の閉鎖により、事業費が減額となりました。

目標の実現に向けた今後の取組

補助制度の周知に努め、危険空家の除却を進め、その後の活用を促進します。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

建設課

事業

空家等対策事業費（繰越）

予算科目

01一般会計・08 土木費・05住宅費・02住宅支援費

施策

4－4－3 安全な住宅環境づくり

創生総合戦略

4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 安全な住宅環境づくり 空家等の対策の推進

事業概要

第3期空家等対策計画に定める空家等対策重点区域での活性化を図るため、重点区域内の情緒あふれる景観を活用した賑わい創出や回遊性の向上につながる施設を建設する事業者に対し補助金を交付するもの。

目的

空家等対策計画に基づき、危険空家解体に対する補助を行うことで、危険な空き家を除却し、市民の安全・安心を確保、住環境の改善及び良好な景観を図ると共に、空き家の有効活用を促進するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		10,000	10,000

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き補助を行った事業者と連携し、空家等対策重点区域内のにぎわいの創出、回遊性の向上に取り組めます。

所属

建設課

振興計画

第4章 持続 「安心して暮らせる持続可能なまちをつくり
ます」
4-4 都市空間

施策

4-4-4 快適な環境による移住・定住の促進

創生総合戦略

4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 快適な環境による移住・定住の促進 就労・生活体験による移住促進 4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 快適な環境による移住・定住の促進 良好な居住環境による定住促進

方針

若者、子育て世代などが居住しやすい環境づくりに取り組みます。

目標

1 就労・生活体験による移住促進

就労体験プログラムやお試し居住施設による生活体験を促しながら、地域住民などとの交流をととして移住への第一歩となる関係人口の創出を図るとともに、NPOや関係団体と連携しながら効果的な発信や相談に努め、若者などの移住を促進します。

2 良好な居住環境による定住促進

山形県宅地建物取引業協会やNPOなどの関係団体と連携しながら、空き家バンクによる中古住宅の供給を図ります。また、民間事業者と連携しながら自然や地域の資源を活用した魅力ある居住環境の整備を促し、良好な宅地供給により子育て世代等の定住を促進します。

実績

1 就労・生活体験による移住促進

(1) 移住ポータルサイトの運用を通じて、移住検討者に有益な情報発信を行うとともに、メールや対面による移住相談に加え、県などが主催する移住フェアへ参加(3回)し、本市の魅力発信及び移住相談に応じた適切な情報提供を行ったことで、支援制度の活用による移住者数が61人となりました。また、関係人口を切り口とした移住の促進につなげるため、就労体験マッチングプログラム「カミダスケ」の運用を行いました。

2 良好な居住環境による定住促進

(1) NPOや宅建協会と連携し空き家バンクの登録を促進したことで、新たに23件が登録されました。(前年度は16件)
(2) 市報などによる制度周知を行い、持家住宅建設等補助金を利用した住宅取得が55件ありました。(前年度は42件)

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
支援制度の活用による移住者数	人	46	61	—	—
持家取得に関する支援制度の活用による定住者数	人	147	174	—	—

指標の変化に対する分析

支援制度の活用による移住者数は、支援制度の周知や移住相談の対応などにより増加したものと考えられます。

持家取得支援制度については、石堂地区の宅地分譲に伴い、制度を利用した定住者が増加しています。（Ｒ６の申請者数42件、定住者数147人、Ｒ７の申請者数55件、定住者数174人）

目標の実現に向けた今後の取組

移住に関する情報発信と相談体制の構築を行うとともに、お試し居住施設の運用を通じた移住促進に努めてまいります。また、引き続き市報等により補助制度を周知し、子育て世帯などの定住を促進します。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	移住推進事業費	予算科目	01一般会計・02 総務費・01総務管理費・06企画費
施策	4－4－4 快適な環境による移住・定住の促進			創生総合戦略	4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 快適な環境による移住・定住の促進 就労・生活体験による移住促進

事業概要

移住フェアの参加や本市の地域資源の温泉などに関する就労体験とともに地域住民との交流や観光資源の体験を促す就労体験マッチングプログラム「カミダスケ」の利用促進により交流人口を拡大した関係人口の創出を図ります。

目的

本市への移住者を増やし、人口の増につなげることで、地域の活性化を図るため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標	移住希望者に対する相談体制が確立し、移住者が増加している状態	希望者のニーズに直結した住宅施策との一体的な相談体制により、円滑に移住が行われている状態	関係団体と連携しながら、移住相談会を開催し移住希望者のニーズを踏まえ、移住誘導を図りました。
活動指標	移住フェア等への出展回数	3 回	3 回
事業費（千円）		7,891	5,310

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

お試し居住施設の開設の遅延や、若者移住引越補助金の申請が無かったことにより事業費が減額となりました。

目標の実現に向けた今後の取組

県や山形連携中枢都市圏の市町村と連携し、移住検討者のニーズに合わせた情報提供や相談対応を行い、移住推進を図ります。また、お試し居住施設の利用者へ提供する「体験プログラム」を通し、移住への意欲を高められるように施設の利用を促進します。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	エリアマネジメント推進事業費	予算科目	01一般会計・08 土木費・04都市計画費・01都市計画総務費
施策	4－4－4 快適な環境による移住・定住の促進			創生総合戦略	4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 快適な環境による移住・定住の促進 良好な居住環境による定住促進

事業概要

駅東エリアの構想に基づき持続可能なまちづくりを推進するため、公園・緑道の整備にあわせ、地域住民による日常のにぎわいづくりによる民間主体の管理体制づくりをパークピクニックトライアル（社会実験）により進めていくため、その内容を話し合うパークデザインミーティング（市民ワークショップ）を開催し進めていきます。

また、公園緑道の整備と民間による宅地分譲に併せ、子育て世代が仕事も子育ても安心してできる環境を整えるため、子育てしながら仕事も楽しむことができる起業講座（ナリワイづくり連続講座）を開催します。

目的

かみのやま温泉駅東側の低未利用地の活用を図りながら、まちなかへの居住誘導を進めるとともに、特に、都市の活力を支える子育て世代の交流や定住の促進を図るため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標	かみのやま温泉駅東エリア整備基本構想の魅力5K（健康・子育て・交流・環境・景観）にもつ将来像に基づく取組がなされている状態	かみのやま温泉駅東エリア整備基本構想の魅力5Kにもつ将来像に基づく取組がなされている状態	駅東エリア整備基本構想の魅力5Kにもつ将来像に基づく取組がなされました。
活動指標	子育て世代を対象とした講座の実施回数	6 回	6 回
	若者や地域住民による日常的なイベントの開催回数	6 回	6 回
事業費（千円）		11,482	11,106

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

日常のにぎわいや各世代の交流が生まれる公園・緑道を目指し、市民ワークショップの民間コアメンバーが中心となって企画する社会実験を実施します。また、市内で仕事も子育ても両立できる環境づくりを支援するため、ナリワイづくり講座を実施します。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	地域優良賃貸住宅供給促進事業費	予算科目	01一般会計・08 土木費・05住宅費・01住宅管理費
施策	4－4－4 快適な環境による移住・定住の促進			創生総合戦略	4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 快適な環境による移住・定住の促進 良好な居住環境による定住促進

事業概要

子育て世帯を対象とした良質な賃貸住宅を供給するため、運営事業者に対して家賃低廉化に要する費用の補助を行います。

目的

子育て世帯を対象とした良質な賃貸住宅を供給し、定住人口の確保と賑わいの創出を図るため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		3,862	3,528

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

子育て世帯向け住宅の充実を図るとともに、家賃低廉化に要した費用の補助を継続し、子育て世帯への支援による定住化を図ります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

建設課

事業

定住促進事業費

予算科目

01一般会計・08 土木費・05住宅費・02住宅支援費

施策

4－4－4 快適な環境による移住・定住の促進

創生総合戦略

4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 快適な環境による移住・定住の促進 良好な居住環境による定住促進

事業概要

子育て世代などの定住を促進するため、持家取得補助金にて支援します。

目的

住宅建設の促進、若年層の流出防止市外からの転入者の増加を図るため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標	市民等に周知され、該当者が相談または申請できる状態	市民等に周知されている状態	市報、ホームページ等で周知を行い、持家住宅等補助金55件（うち子育て世帯39件）の補助を行いました。
	市民等への補助制度の周知回数	2 回	2 回
活動指標			
事業費（千円）		30,000	27,300

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、市報、ホームページ等により制度を周知し、子育て世帯や若者の移住・定住促進を図ります。

所属

市政戦略課

振興計画

第4章 持続 「安心して暮らせる持続可能なまちをつくり
ます」
4-5 公共交通

施策

4-5-1 民間事業者が運営する公共交通の維持・確保

創生総合戦略 該当無し

方針

民間事業者が運営する公共交通の維持・確保に取り組めます。

目標

1 民間バス路線の維持・確保

公共交通の中でも、特に乗合バスは、通勤、通学、通院、買物等の地域住民の日常生活を支える公共交通として重要な役割を果たしており、今後も維持していく必要があります。市内路線については継続して支援を行い、都市間バスについてはダイヤ改正の協議等により利便性を高め乗車人数を確保し、バス路線の維持を図ります。

実績

1 民間バス路線の維持・確保

(1) 市内路線については、山交バス久保手線及び棚木線に対し、9,894千円の補助を行い、路線の維持・確保を図りました。便数はそれぞれ2便/日、3.5便/日であり、土日祝日、夏期及び年末年始を除く239日運行されました。【1日あたり便数：2便/日+3.5便/日=5.5便/日】 都市間バスについては、上山一山形線に関し、山形県地域公共交通活性化協議会と連携し、バス路線の維持を図りました。便数は平日35.0便/日、土日祝日、夏期及び年末年始（元日を除く）24.5便/日であり、元日を除く364日運行されました。【1日あたり便数：（平日35.0便/日×239日+土日祝日等24.5便/日×125日）÷364日≒31.4便/日】

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
民間バス市内路線1日あたり便数	便	8	5.5	—	—
民間バス上山山形都市間路線1日あたり便数	便	31.4	31.4	—	—

指標の変化に対する分析

市内路線について、久保手線は前年度より1.5便/日減の2便/日、棚木線は前年度より1便/日減の3.5便/日となっています。乗車人員の減少により、1便当たりの乗車密度が低下していることから、路線維持のため、利用が少ない時間帯の便が廃止されたものと考えられます。

都市間路線については、通勤・通学に伴う乗車需要があることから、前年度から便数の変更はなく、現状を維持できているものと考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き民間バス事業者への補助を行うとともに、市内公共交通に係る周知・広報等、公共交通の利用促進に係る取組を実施してまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

市政戦略課

事業

公共交通事業費

予算科目

01一般会計・02 総務費・01総務管理費・06企画費

施策

4-5-1 民間事業者が運営する公共交通の維持・確保 4-5-2 市営公共交通の運行

創生総合戦略

該当なし

事業概要

市営予約制乗合タクシーを西郷・本庄・東・宮生（一部を除く。）・中川（一部）・中山地区において運行するとともに、市営バス市内循環線を市街地において運行します。また、民間バス事業者への支援を継続して行い、バス路線の維持を図ります。

目的

交通弱者の足を確保するとともに、誰もが利用しやすい公共交通を確保するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標	誰もが利用しやすい公共交通が確保されている状態	交通弱者をはじめ、市民が利用しやすい公共交通が整備されている状態	交通弱者をはじめ、市民が利用しやすい公共交通を確保しました。
活動指標	市営予約制乗合タクシー運行日数	355 日	355 日
	市中心部循環バス運行日数	355 日	355 日
	公共交通利用促進に係る周知回数	2 回	3 回
事業費（千円）		95,399	68,196

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

事業費は時間空白等調査・実証費用の低減、予約制乗合タクシーの想定内台数での運行及び民間バス便数減による補助金減によるものです。公共交通利用促進のため、鉄道利用、予約制乗合タクシー（山元地区）及び交通空白解消実証実験を周知しました。

目標の実現に向けた今後の取組

時間的な交通空白や将来的な公共交通の不足に対応するため、実証実験の結果を踏まえた本格的な対策を実施してまいります。

所属

市政戦略課

振興計画

第4章 持続 「安心して暮らせる持続可能なまちをつくり
ます」
4-5 公共交通

施策

4-5-2 市営公共交通の運行

創生総合戦略 該当無し

方針

市営バスと市営予約制乗合タクシーを運行し、民間バス路線が廃止となった地域において移動手段を確保します。

目標

1 市営バスの運行

市街地において、民間バス事業者の路線が廃止された地区に対して、市営バスを運行し、交通弱者の足および地域の利便性を確保します。
また、地域の特性、利用者のニーズをふまえ、運行本数や時刻表等の運行内容を見直します。

2 市営予約制乗合タクシーの運行

郊外エリアにおいて、民間バス事業者の路線が廃止された地区に対して、市営予約制乗合タクシーを運行し、交通弱者の足および地域の利便性を確保します。
また、地域の特性、利用者のニーズをふまえ、運行本数や時刻表等の運行内容を見直します。

3 持続可能な公共交通の検討

環境に優しい公共交通や、既存の交通手段にとらわれない新たな交通手段の検討など市民の利便性向上につながる公共交通の在り方を考えてまいります。

実績

1 市営バスの運行

(1) かみのやま温泉駅を起点・終点とする、主に本庁南部地区14.2kmを循環する路線を運行しました。便数は10便/日、乗車定員は9人、運賃は200円/1回とし、夏季及び年末年始を除く355日運行しました。乗車人数は8,064人で前年対比8.7%の増となりました。

2 市営予約制乗合タクシーの運行

(1) 西郷、本庄、東、宮生（宮脇の一部を除く。）、中山、中川（糸目、仙石（一部を除く。）、高野、薄沢、永野、蔵王、坊平）及び山元地区と市街地の医療機関・公共機関等を結ぶ区間を運行しました。便数は地区ごと8便/日、運賃は距離に応じ300円～2,400円とし、夏季及び年末年始を除く355日（山元地区は177日）運行しました。乗車人数は9,596人で前年対比2.7%の減となりました。

3 持続可能な公共交通の検討

(1) 市営バスについて、運賃が乗車人数に影響を与えるかを検証するため、令和7年6月から9月の間、中高生運賃を半額とする社会実験を実施しました。社会実験による割引の利用者数は21人で、全体の利用者増減数に対する比率が小さく、利用料半額が乗客数の変動に与える影響は少ないとの結果となりました。
(2) 市営予約制乗合タクシーについて山元地区の要望を踏まえ、令和7年10月から運行を開始しました。
(3) 公共交通の時間空白や観光に係る移動需要の有無を調査し、対応策を検討するための実証実験として、令和7年12月から令和8年1月の間、市営バス北部循環線、棚木方面の予約制乗合タクシー、蔵王高原坊平方面へのシャトルバスの運行を行いました。実証実験の結果、市営バス北部循環線の本格運行

開始に向けた準備を進めることとしました。

中間アウトカム指標	単位	令和 6 年度実績	令和 7 年度実績	令和 8 年度実績	令和 9 年度実績
市営バス市内循環線年間利用者数	人	7,421	8,064	—	—
市営予約制乗合タクシー年間利用者数	人	9,858	9,596	—	—

指標の変化に対する分析

市営バスは、免許返納した高齢者や障がい者等の利用等により、昨年度以前から引き続き増加傾向にあります。
予約制乗合タクシーは、西郷、中山及び中川地区は減少傾向にあり、本庄、宮生地区は増加、東地区は微減となっています。令和 7 年10月から運行開始した山元地区の増加分を含めても全体として減少しております。月別の前年対比を見ると増加又は減少幅が大きい月と小さい月があり、利用者において都度発生する移動需要に合わせた活用がされていると考えられます。今後も高齢者数の減少に伴い、減少傾向が続くと考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

実証実験を踏まえ、民間バスの時間空白に対応するための市営バスの運行を本格開始し、更なる利便性向上を図るとともに、インバウンド観光客の増加等による公共交通の不足に対応するため、関係団体と連携した交通対策の検討をすすめてまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

市政戦略課

事業

公共交通事業費

予算科目

01一般会計・02 総務費・01総務管理費・06企画費

施策

4-5-1 民間事業者が運営する公共交通の維持・確保 4-5-2 市営公共交通の運行

創生総合戦略

該当なし

事業概要

市営予約制乗合タクシーを西郷・本庄・東・宮生（一部を除く。）・中川（一部）・中山地区において運行するとともに、市営バス市内循環線を市街地において運行します。また、民間バス事業者への支援を継続して行い、バス路線の維持を図ります。

目的

交通弱者の足を確保するとともに、誰もが利用しやすい公共交通を確保するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標	誰もが利用しやすい公共交通が確保されている状態	交通弱者をはじめ、市民が利用しやすい公共交通が整備されている状態	交通弱者をはじめ、市民が利用しやすい公共交通を確保しました。
活動指標	市営予約制乗合タクシー運行日数	355 日	355 日
	市中心部循環バス運行日数	355 日	355 日
	公共交通利用促進に係る周知回数	2 回	3 回
事業費（千円）		95,399	68,196

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

事業費は時間空白等調査・実証費用の低減、予約制乗合タクシーの想定内台数での運行及び民間バス便数減による補助金減によるものです。公共交通利用促進のため、鉄道利用、予約制乗合タクシー（山元地区）及び交通空白解消実証実験を周知しました。

目標の実現に向けた今後の取組

時間的な交通空白や将来的な公共交通の不足に対応するため、実証実験の結果を踏まえた本格的な対策を実施してまいります。

所属

庶務課

振興計画

第4章 持続 「安心して暮らせる持続可能なまちをつくり
ます」
4-6 防災・減災

施策

4-6-1 自主防災組織活性化と防災・減災体制の強化

創生総合戦略 該当無し

方針

地域の防災力を高めるため、市民の防災意識の向上と自主防災組織の活性化を進め、災害時における的確な情報伝達や防災拠点における機能充実、大規模災害時におけるBCP計画の対応や協定締結自治体等との相互支援など防災・減災体制の強化に取り組めます。

目標

1 自主防災組織の活性化

自主防災組織の活動を促すため、地域で実施する防災講座や訓練、避難行動要支援者の個別計画作成、備蓄品確保の取組などを積極的に支援し、住民が正しい知識を持ち、互いに助け合う、災害に強い地域づくりを目指します。

2 自然災害に対する防災・減災体制の強化

災害の危険性を周知するため、防災ファイル等によりハザード情報を提供します。災害が予測される時には迅速な避難情報の発令体制を構築します。

また、災害の発生時に備え、総合防災訓練や避難所開設訓練など各種訓練を実施し、避難所などの防災拠点には生活必需品を備蓄するとともに、BCP計画の実効性を高め、協定締結自治体等との相互支援体制を推進することにより防災・減災体制を強化します。

実績

1 自主防災組織の活性化

(1) 防災講座の開催(14回)や避難行動要支援者(399名)の個別計画作成等を支援することを通して、防災・減災に関する正しい知識を習得するとともに地域で相互に助け合う共助の体制づくりに取り組みました。また、自主防災組織による防災資機材整備(7地区)を支援することを通して地域防災力を強化しました。

2 自然災害に対する防災・減災体制の強化

(1) 土砂災害警戒区域の追加指定を受けハザードマップを更新して全戸に配布し、災害リスクの周知広報に努めました。また、総合防災訓練や避難所開設運営訓練等の各種訓練を実施したほか、発災に備え事業所等との災害時応援協定(5件)を締結しました。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
防災講座を開催する自主防災組織数	団体	21	14	—	—

指標の変化に対する分析

防災講座については、自主防災組織によって、毎年開催・何年かに1回開催・未開催と温度差があるほか、令和7年度の総合防災訓練の対象地区が本庁中部地区（22地区会）で、防災講座開催を見合わせたことにより、前年度を下回ったと考えられます。（防災出前講座全体の開催回数は令和6年度と同じ23回で、自主防災組織以外の講座開催が増えています）

目標の実現に向けた今後の取組

防災意識の醸成と災害に強い地域づくりを通して地域防災力の強化を図り、自助・共助の体制構築に努めてまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 庶務課 事業 防災対策推進費 予算科目 01一般会計・02 総務費・01総務管理費・08市民生活対策費

施策 4－6－1 自主防災組織活性化と防災・減災体制の強化 創生総合戦略 該当なし

事業概要

災害時対応のために、防災訓練の実施等による防災・減災体制の強化及び災害時備蓄品等の整備を行います。また、携帯通信網を利用した職員間の情報共有のため、タブレット端末を配備し、災害時における情報の収集及び発信の円滑化を進めます。

目的

日頃からの活動による住民の防災・減災への理解と意識の高揚を図り、物資等の整備を進めることで市民の生命・財産、及び安心・安全を確保するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標	防災・減災への理解と意識の高揚を図り、有事における避難所への迅速な避難誘導と、防災用備蓄品等を整備し市民の安全・安心感を高めている状態	防災ファイルの改訂を行い、防災・減災体制の強化が図られている状態	防災ファイルの改訂を行い、防災・減災体制の強化を図りました。
活動指標	防災ファイル更新率	100 %	100 %
	指定避難所耐震化率	100 %	100 %
事業費（千円）		54,756	27,089

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

山形県防災行政通信ネットワーク再整備工事負担金について、工事が年度内に完了せず、令和8年度に繰り越したためです。（26,940千円）

目標の実現に向けた今後の取組

自主防災組織による防災講座の開催支援や各種訓練の実施を通して地域の防災力を高め、地域と連携を図りながら災害に強い地域づくりを推進してまいります。

所属

消防本部

振興計画

第4章 持続 「安心して暮らせる持続可能なまちをつくり
ます」
4-7 消防

施策

4-7-1 消防力の充実強化

創生総合戦略 該当無し

方針

複雑多様化・大規模化する災害へ対応するため、消防力の充実強化を図ります。

目標

1 現場対応力向上と人材育成

各種団体へ協力を依頼して訓練施設や場所を確保し、火災現場や救助現場に近い環境による実効性の高い訓練を実施するほか、警察等の他機関との合同訓練を行い部隊の現場対応力向上を図ります。

2 応急手当の普及啓発

受講者のニーズに合わせた内容とすることで受講しやすい講習会とし、多くの市民に応急手当の普及啓発を図ります。

3 防火対象物の指導是正

不特定多数の人が利用し、火災が発生した場合に甚大な被害が予想される旅館・病院等に対し、定期的な火災予防査察を行い、適正な防火管理体制や消防用設備等の維持管理を指導します。

実績

1 現場対応力向上と人材育成

(1) 市内の大規模工場に協力を依頼し、建物を使用したより実践に近く実効性の高い訓練（1回）を実施しました。また、警察等との部隊運用訓練（1回）や他機関とも各種合同訓練（3回）を実施し、現場対応力を向上させました。

2 応急手当の普及啓発

(1) 受講者のニーズに合せた内容とした講習会を72回、1,496人の市民に応急手当の講習を行いました。

3 防火対象物の指導是正

(1) 不特定多数の利用がある施設（ホテル・旅館）のほか、文化財や寺院、学校及び危険物施設に対しても火災予防査察（計57施設）を行い、適正な防火管理体制や消防用設備等の維持管理を指導しました。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
搬送心肺停止事案における心肺蘇生実施率	%	60	53	—	—
立入検査不備事項改善率	%	57	46	—	—

指標の変化に対する分析

搬送心肺停止事案における心肺蘇生未実施の理由としては、現場に居合わせた方が高齢者のみで体力面の不安や電話口頭指導の理解不足等が考えられます。立入検査不備事項改善率については、立入検査において不備事項のあった26施設に通知書を送付し、12施設から改善報告があり46%となりました。なお、近年立入検査が未実施であった文化財や寺院、学校等に対し立入検査を実施しました。不備事項の改善は次年度予算での対応となる施設が多く、早期の改善が難しいため今回の改善率となったものと考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

搬送心肺停止事案における心肺蘇生率については、全国平均とほぼ同様に推移しているものの、引き続き応急手当の普及啓発活動に取り組んでまいります。立入検査不備事項改善率については、単年での改善が難しいことがあるため、継続して施設担当者と協議等を行い不備事項改善に向け業務を進めてまいります。

令和 7 年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	消防本部	事業	消防総務費	予算科目	01一般会計・09 消防費・01消防費・01常備消防費
施策	4－7－1 消防力の充実強化			創生総合戦略	該当なし

事業概要

火災をはじめ、複雑多様化・大規模化する災害に対応するため、職員を教育訓練に派遣し知識・技術の習得を行うとともに、大型免許取得や貸与備品を整備し、消防本部の円滑な運営を図ります。

目的

常備消防の運営管理及び複雑多様化・大規模化する災害に迅速かつ適切に対応する体制の充実強化を図るため。

区分		令和 7 年度予算	令和 7 年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		27,691	25,846

理由 ※令和 7 年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、消防職員の人材育成を行うとともに、消防組織・体制の充実を図り、複雑多様化及び大規模化する災害に対応してまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

消防本部

事業

防災等活動費

予算科目

01一般会計・09 消防費・01消防費・01常備消防費

施策

4－7－1 消防力の充実強化

創生総合戦略

該当なし

事業概要

災害用資器材を整備し、消防体制の充実に努めます。

目的

災害時に必要な資器材の整備及び技能を習得し被害を軽減するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標	常時災害に対応できる状態	常時災害に対応できる状態	訓練を実施し、常時災害に対応できる状態にしました。
活動指標	山形県消防防災ヘリコプターとの連携訓練	3 回	3 回
事業費（千円）		2,822	2,788

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

今後も各種災害に対応するため、連携訓練を継続的に実施してまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	消防本部	事業	消防施設整備事業費	予算科目	01一般会計・09 消防費・01消防費・03消防施設費
施策	4－7－1 消防力の充実強化			創生総合戦略	該当なし

事業概要

消防施設や消防車両など消防業務に欠かせない施設や資器材を継続的に維持管理します。

目的

消防施設や資器材の充実及び適正な維持管理を図り、災害時にその施設を利用し被害を軽減するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		341,692	158,636

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

事業費の乖離は、消防本部ZEB化事業の2ヵ年実施や消防団小型動力ポンプ付積載車のシャシ遅延等により納車困難となったため、未完了事業を令和8年度へ繰越したためです。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、あらゆる災害に迅速に対応できるようにしていきます。併せて、機動力強化を目的とし消防団車両の配備を推進してまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	消防本部	事業	救急業務費	予算科目	01一般会計・09 消防費・01消防費・01常備消防費
施策	4－7－1 消防力の充実強化	創生総合戦略	該当なし		

事業概要

複雑多様化、高度化する各種災害に対応するため、救急・救助体制の充実強化を図ります。

目的

救急車積載資器材の充実・強化を図り、各種研修会や講習会に参加させ、救急・救助隊員の知識・技術を向上させるとともに、市民に対し応急手当の普及啓発活動を行い、救命率を向上させるため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標	各種講習会に参加し、救急隊員・救助隊員の知識・技術の向上を図っている状態 応急手当普及啓発活動を行い、救命率の向上を目指している状態	各種研修会、講習会を受講している状態 応急手当講習会を実施している状態	各種研修会、講習会に参加し、救急・救助隊員の知識・技術を向上させるとともに、応急手当の普及啓発活動を行いました。
活動指標	各種研修会・講習会参加人数	25 人	24 人
	応急手当講習会開催回数	100 回	72 回
事業費（千円）		22,489	19,129

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

各種研修会・講習会参加人数については、職員の勤務人員を確保するため参加できなかった研修会がありました。応急手当講習会については、普及啓発活動を行っているものの、申込数が目標値を下回る結果となったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

今後も各種研修会、講習会に参加し、救急・救助隊員の知識・技術を向上させるとともに、応急手当の普及啓発活動を行い、救命率の向上を図ってまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

消防本部

事業

消防施設整備事業費（繰越）

予算科目

01一般会計・09 消防費・01消防費・03消防施設費

施策

4－7－1 消防力の充実強化

創生総合戦略

該当なし

事業概要

消防施設や消防車両など消防業務に欠かせない施設や資器材を継続的に維持管理します。

目的

消防施設や資器材の充実及び適正な維持管理を図り、災害時にその施設を利用し被害を軽減するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標 活動指標			
事業費（千円）		15,113	15,112

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、消防施設の適正な維持管理と消防力の充実強化を行ってまいります。

所属

消防本部

振興計画

第4章 持続 「安心して暮らせる持続可能なまちをつくり
ます」
4-7 消防

施策

4-7-2 消防団を中核とした地域防災力の充実強化

創生総合戦略 該当無し

方針

市民の安全・安心を確保するため、地域防災力の中核的な役割を担う消防団の充実強化を図ります。

目標

1 消防団員の現場対応力の向上と安全管理

安全で確実な消防活動を行うため、消防ポンプや各種資機材操作の基本訓練を定期的を実施し、現場対応力の向上を図ります。

2 施設の維持管理

ポンプ庫や防火水槽・消火栓等の消防水利を定期的に巡視・点検し、不具合箇所の早期発見を図り、あわせて地理・水利の把握につなげます。

3 消防団員の知識・技術の習得

消防学校をはじめとする教育機関へ派遣し、複雑多様化・大規模化する各種災害対応の知識・技術の習得を図ります。

実績

1 消防団員の現場対応力の向上と安全管理

(1) 幹部・若年団員教養訓練、春季消防演習、水防工法講習会、ポンプ操作講習会、チェーンソー・エンジンカッター講習会、秋季消防演習、救命講習会など様々な訓練を実施したほか、東南村山支部連携訓練（林野火災想定）や市総合防災訓練にも参加し、現場対応力を向上させました。

2 施設の維持管理

(1) 定期的にポンプ庫や消防水利の巡視・点検を実施し、不具合箇所の早期発見や地理・水利の把握を行いました。

3 消防団員の知識・技術の習得

(1) 消防学校に5人を派遣しました。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
ポンプ操作講習会受講率	%	39	38	—	—
教育訓練参加者数	人	8	5	—	—

指標の変化に対する分析

ポンプ操作講習会受講率が4割程度で推移している要因として推測されることは、就業形態の多様化により、日曜勤務や夜勤のため訓練に参加できない団員が一定数いることがあげられます。また、消防団活動より子育てや家族・友人とのプライベート時間を優先する、といった意識の変化も大きく影響していると考えられます。

教育訓練参加者数の減については、開催定員割れによる女性消防団員研修の中止及び生業を持った方が消防学校の計画どおりに入校できなかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

災害対応につながるような訓練内容を精査・確立し、参加しやすい日程を団幹部と協議・検討してまいります。教育訓練参加については、入校課程の精査も含め、団幹部と協議・検討してまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属

消防本部

事業

消防団運営費

予算科目

01一般会計・09 消防費・01消防費・02非常備消防費

施策

4－7－2 消防団を中核とした地域防災力の充実強化

創生総合戦略

該当なし

事業概要

教育訓練に派遣し、消防団活動に必要な知識・技術を習得します。また、貸与備品等の整備を充実させ、消防団員の入団促進及び活性化を図ります。

目的

地震・豪雨災害等消防団活動に必要な知識・技術を習得し、地域防災力の充実強化を図るため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標	消防団員の確保と活性化対策の推進及び消防団員の教育体制、装備等の充実を図っている状態	消防団員の確保と活性化対策の推進及び消防団員の教育体制、装備等の充実を図っている状態	消防団員の確保と活性化対策の推進及び消防団員の教育体制、装備等の充実を図りました。
	訓練実施回数	27 回	49 回
活動指標			
事業費（千円）		54,514	43,391

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

訓練実施回数は、訓練を実践的・短時間化し複数回に分けて参加しやすくしたため、実施回数が増えています。事業費は消防団員の実員数が定数を下回ったことで年報酬の支出が予算を下回り、加えて出勤報酬の支給実績も少なかったためです。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き効率的かつ実効性の高い計画を立案し、災害対応に繋がる有意義な訓練を実施してまいります。

所属

市民生活課

振興計画

第4章 持続 「安心して暮らせる持続可能なまちをつくり
ます」
4-8 防犯・交通安全

施策

4-8-1 防犯対策と安全な消費生活の推進

創生総合戦略 該当無し

方針

地域や関係機関との連携を強化して地域防犯組織を育成するとともに、防犯対策を推進し、高齢者の犯罪被害防止、青少年の非行防止、暴力追放を図ります。また、ライフステージに応じた消費者教育を推進し、安全で明るく住みよいまちをつくります。

目標

1 防犯対策の推進

上山警察署などの関係機関と連携して、地域や学校ぐるみの防犯対策を推進します。

また、啓発活動により市民の防犯意識を高め、防犯組織の育成を図りながら高齢者の犯罪被害防止、青少年の非行防止、暴力追放の取組を推進します。

さらに、「青パト連絡会」との連携により、防犯パトロールを強化するとともに、防犯灯などの環境整備を推進します。

2 安全な消費生活の推進

消費者トラブルの救済と防止のため、消費生活相談員の丁寧な相談に努め、相談者への情報提供や関係機関との連携により早期解決につなげます。

また、インターネットやSNS、通信販売での被害拡大を防ぐため、消費者教育と啓発活動を推進します。

実績

1 防犯対策の推進

- (1) 地域安全活動の推進のため、防犯関係団体の出席のもと「安全安心なまちづくり上山市民大会」を7月18日に三友エンジニア体育文化センターで開催し、防犯功労者及び防犯功労団体の表彰や、安全で安心して生活できる地域社会の実現を目指し大会宣言を行ったほか、夏の安全県民運動出発式では、パトカーや青パト車によるパレード及び防犯啓発活動を行いました。また、全国地域安全運動の取組として、10月10日に上山警察署で上山市出発式を開催し、中学生代表による安全宣言や青パト車等による安全パトロールを実施しました。青少年の健全育成のため、8月26日に第64回山形県少年の主張大会上山地区大会を開催し、市内の中学校3校から7名の生徒が出場しました。また、防犯思想の普及と高揚、青少年非行の防止等を目的に市内の小・中・高校生を対象に防犯作品コンクールを開催、防犯標語やポスターを募集・審査し、入賞者の表彰を行いました。

2 安全な消費生活の推進

- (1) 消費者トラブル救済のため消費生活相談員を配置し、街頭啓発や「消費生活センターだより」の隣組回覧をそれぞれ年4回実施し、消費者トラブルの事例を周知することで未然防止を図りました。また、10月市報配布時にネット犯罪のパンフレットを全戸配布することで、ネット犯罪の多様な手口の周知、犯罪に巻き込まれないための注意喚起を図りました。更に、市内小中学生向けに消費者教育用啓発パンフレットの配布や、生活支援員向けに出前講座を開催する等、幅広い世代への消費者教育を推進しました。

中間アウトカム指標	単位	令和 6 年度実績	令和 7 年度実績	令和 8 年度実績	令和 9 年度実績
人口 1 万人当たりの犯罪認知件数	件	30.6	32.1	—	—
消費相談における相談完了率	%	100	100	—	—

指標の変化に対する分析

全国では令和 3 年の犯罪認知件数が最も少なく、令和 4 年以降は毎年増加が続いています。当市の人口 1 万人当たりの犯罪認知件数は令和 6 年に 30.6 件となった後、令和 7 年は 32.1 件となり、1.5 件の増加となりました。県全体では令和 7 年に 32.2 件となり、県全体との比較では当市が 0.1 件少なくなっています。消費相談件数も年々増加傾向にあり、令和 2 年度 67 件から令和 7 年度 118 件と約 1.8 倍となっていますが、解決に向けた助言・指導を的確に実施し相談完了に繋がっています。

目標の実現に向けた今後の取組

上山警察署や防犯協会などの関係機関等と連携し、「安全安心なまちづくり市民大会」の開催や地区を選定しての防犯診断の実施等により、地域ぐるみの防犯対策を推進するとともに啓発活動等を通して市民の防犯意識の高揚を図ってまいります。また、高齢者の犯罪被害防止のため、高齢者世帯訪問時に防犯啓発チラシの配布と声かけを実施します。青少年の健全育成のために、青パト車による防犯パトロールを実施します。消費者トラブルの未然防止と早期解決を推進するため、引き続き相談窓口を常設するとともに、街頭啓発や広報による事例紹介や制度の周知を図ってまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市民生活課	事業	自衛官募集費	予算科目	01一般会計・02 総務費・01総務管理費・01一般管理費
施策	4－8－1 防犯対策と安全な消費生活の推進	創生総合戦略	該当なし		

事業概要

法定受託事務である自衛官募集事務として、市民に自衛隊に対する親近感を持ってもらうため、新入隊員激励会の開催等を通し募集計画を支援します。

目的

自衛隊の募集計画の達成に向けて協力するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		25	13

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

自衛隊新入隊予定者上山市激励会などの開催にあたり、残っていた用紙を使用するなど経費の節減を図ったためと考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、自衛官募集に関する情報の提供や、入隊予定者への激励会等を開催することで、自衛隊の募集計画達成に向けて協力してまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 市民生活課 事業 消費者行政費 予算科目 01一般会計・02 総務費・01総務管理費・08市民生活対策費

施策 4－8－1 防犯対策と安全な消費生活の推進 創生総合戦略 該当なし

事業概要

消費生活相談員1名を雇用し、行政職員とともに消費者啓発活動及び消費生活相談を行います。

目的

上山市消費生活センター運営の充実を図り、消費者被害の防止と救済及び安全な消費生活を推進するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標	消費生活センターの相談窓口を市民全体が周知している状態	全ての相談事案に指導・助言を実施している状態	全ての相談事案に対し解決に向けて指導・助言を行いました。
	消費生活センターへの相談事案が全て相談完了となる状態		
活動指標	消費生活行政の啓発用チラシの隣組回覧回数	4 回	4 回
	注意喚起情報の全戸配布回数	1 回	1 回
	研修参加の回数	10 回	17 回
事業費（千円）		3,975	3,630

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

助言・指導を的確に行うための情報及び知識を学ぶため、担当職員及び消費生活相談員が機会を捉え積極的に研修会に参加したためです。

目標の実現に向けた今後の取組

市報やホームページにおいて情報発信をするとともに関係機関との連携により消費生活センター及び消費者教育の推進を図っていきます。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	市民生活課	事業	防犯対策費	予算科目	01一般会計・02 総務費・01総務管理費・08市民生活対策費
施策	4－8－1 防犯対策と安全な消費生活の推進			創生総合戦略	該当なし

事業概要

少年の主張大会を開催し、中学生の健全育成を図ります。また、防犯灯ＬＥＤ化整備事業による2,950基の防犯灯のリース料、その他の防犯灯の修繕、新設・更新経費の助成を行うとともに、防犯協会など関係団体を補助金等で支援し、防犯対策の推進を図ります。

目的

地域や学校ぐるみの防犯対策を関係機関と連携して推進するとともに、防犯と安全対策のために防犯灯を整備して安全・安心なまちづくりを進めます。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標	地域や学校ぐるみの防犯対策を関係機関と連携して推進している状態	関係2団体へ補助している状態。地区要望に基づき必要な防犯灯を設置している状態。	防犯関係2団体に補助金を交付しました。また、各地区会からの要望に基づき、必要な防犯灯を設置しました。
活動指標	防犯協会等補助金・負担金支出団体数	2 団体	2 団体
	防犯灯の新設灯数	25 灯	22 灯
事業費（千円）		10,823	10,388

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

地区会から要望があった防犯灯は全て設置しましたが、要望灯数が少なかったためと考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、防犯関係団体を支援しながら防犯対策及び啓発に取り組むとともに、防犯灯の修繕や新設の要望に対応し、安全で安心して生活できるまちづくりを推進してまいります。

所属

市民生活課

振興計画

第4章 持続 「安心して暮らせる持続可能なまちをつくり
ます」
4-8 防犯・交通安全

施策

4-8-2 交通安全対策の推進

創生総合戦略 該当無し

方針

上山市交通安全計画の基本理念をふまえて、家庭・地域・職場から交通安全を推進するため、交通安全教育、普及啓発活動を実施して、歩行者・ドライバーの意識高揚を図るとともに、交通安全施設等の整備を促進し交通事故の減少につなげます。

目標

1 上山市交通安全計画の推進と交通安全施設整備の推進

本市の交通安全対策の指針となる「上山市交通安全計画」に基づき、家庭・地域・職場における安全教育や普及啓発等の取組を推進・支援します。また、交通事故未然防止のため、危険箇所の調査・点検を行い、道路反射鏡や道路標示等の適正な交通安全施設の整備を図り、より安全な交通空間の整備に努めます。

実績

1 上山市交通安全計画の推進と交通安全施設整備の推進

(1) 交通安全専門指導員による交通安全教室を幼児、小・中学生、高齢者を対象に68回開催して交通安全教育を推進したほか、市交通安全推進協議会等の関係機関・団体とともに街頭啓発活動等を19回実施するなど、市民の交通安全意識を高めました。また、道路反射鏡の修繕を10地区10箇所を実施し、安全な交通空間を整備しました。

中間アウトカム指標	単位	令和6年度実績	令和7年度実績	令和8年度実績	令和9年度実績
人口1万人当たりの人身事故件数	件	27.3	21.5	—	—
高齢者ドライバーが第一当事者となった人身事故件数	件	18	14	—	—

指標の変化に対する分析

過去20年間の統計記録上、上山市内での人身事故の発生件数は減少傾向が続いており、令和6年は100人を下回る77件、令和7年はさらに19件減少して58件となり、人口1万人当たりの人身事故件数も令和6年の27.3件から5.8件の減となりました。なお、高齢者ドライバーが第一当事者となった人身事故件数は令和6年（18件）より4件減少しました。交通安全啓発活動による交通ルール遵守の呼びかけ、夜光反射材の配布、運転免許証の自主返納者に対するタクシー券交付等の支援を継続実施していることが減少傾向に寄与していると考えられます。

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、交通安全推進協議会等と連携し、家庭、地域、職場における交通安全教育や啓発活動等の推進・支援に取り組めます。また、道路反射鏡などの交通安全施設の整備・維持管理を実施し、より安全な交通空間の確保を図ります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属 市民生活課 事業 交通安全対策費 予算科目 01一般会計・02 総務費・01総務管理費・09交通安全対策費

施策 4－8－2 交通安全対策の推進 創生総合戦略 該当なし

事業概要

交通安全専門指導員、交通安全指導員による安全教育や交通指導、啓発広報を行うとともに、道路照明灯やカーブミラー等の整備・管理を行います。

目的

家族・地域・職場ぐるみで交通安全意識の高揚を推進し、実践を呼びかけるとともに、道路環境の整備を通して安全性・快適性の確保を図り、交通事故を防止するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標	交通事故発生発生件数削減と死亡事故ゼロとなっている状態	交通事故発生件数の削減と死亡事故ゼロを目指す状態	交通事故発生件数は前年比で19件減少し、死亡事故は1件発生しました。
活動指標	交通安全広報誌隣組回覧回数	3 回	3 回
	道路反射鏡修繕要望対応率	100 %	100 %
事業費（千円）		25,774	24,420

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

交通事故防止を図るため、引き続き交通安全教室や街頭啓発活動などを通して、市民の交通安全意識の高揚を推進するとともに、道路環境の整備により安全性・快適性の確保に努めてまいります。

令和7年度 実施計画兼予算要求書（検証）

所属	建設課	事業	交通安全施設整備事業費	予算科目	01一般会計・08 土木費・02道路橋梁費・03道路新設改良費
施策	4-1-1 道路環境の充実 4-8-2 交通安全対策の推進			創生総合戦略	4 魅力と持続 ～選ばれるまちづくりに挑戦するまちへ～ 道路環境の充実 道路維持整備の推進

事業概要

地区会からの要望等に基づき、区画線（路面標示）、道路照明灯、カーブミラー、ガードレール設置等道路の交通安全施設整備を行います。

目的

交通事故を未然に防ぎ、安全な交通環境を確保するため。

区分		令和7年度予算	令和7年度実績
目標			
活動指標			
事業費（千円）		8,000	7,957

理由 ※令和7年度予算・実績に係る目標・活動指標について乖離がある場合

目標の実現に向けた今後の取組

引き続き、通学路点検や地区会要望による交通安全対策箇所について、積極的に整備を実施してまいります。